

基督教学研究

第 14 号

論文

キルケゴールにおける「論理的問題」……………林 忠良…一

罪の自覚——その人間学的考察(一)……………内村公義…三

モルトマンの歴史理解——希望の神学と現代世界の問題……………笠井恵二…三

探究する聖霊——初期オリゲネスにおける解釈学的原理……………久山道彦…七

ニュッサのグレゴリオスにおける「鏡」の概念について……………土井健司…一七

研究ノート

クリュソストモスの解釈学

——神理解の可能性と不可能性の問題を巡って……………武藤慎一…二六

伊藤邦幸氏の逝去を悼む……………高野晃兆…三六

彙報

一九九一年度基督教教学講座講義題目

水垣 渉 教授 講義「キリスト教思想の基礎：共同体の思想」

研究「キリスト教思想における「関係」をめぐらす諸概念」

演習「Clemens Alexandrinus: Stromata VII」

研究「キリスト教教学研究法及びA. D. Nock: Conversion」

演習「R. Otto: Sünde und Urschuld」

森田雄三郎 講師 研究「無と創造・形成」

常葉謙二 講師 研究「ドイツ敬虔主義の成立と展開」

稲垣良典 講師 研究「中世の倫理思想——トマス倫理学を中心た」

長谷正當 教授 演習「P. Tillich: Systematic Theology (前年度の続き)」

勝村弘也 講師 演習「古典ヘブライ語文法及び「詩篇」講読」

田辺明子 講師 演習「原始キリスト教の聖餐伝承」

小池三郎 講師 演習「Augustinus: De Diversis Quaestionibus ad Simplicianum (最初かゝ)」

一九九一年度論文題目

卒業論文 提出者無し

修士論文 提出者無し

提出者無し

第一号 目次

終末論の二類型	武藤 一雄
キリスト論の視点	森田 雄三郎
初期アウグスティヌスの人間学	金子 晴勇
Lumen Christi	佐藤 吉昭
ルターの "Orbigkeit" に関する一考察	早乙女 禮子
ルターにおける信仰と礼典	竹原 創一
バルト「ローマ人への手紙」における神認識	村山 周治

第二号 目次

オリゲネスの「キリスト教理解」	水垣 渉
ゲッセマネ	大島 征二
神学における言葉の問題	竹原 創一
アウグスティヌスにおけるキリストの人性について	小池 三郎
ギリシヤ語旧約聖書における <i>naudeia</i> について	伊藤 利行
エルンスト・トレルチにおける "Komprimis" の概念	安酸 敏真
シェリングに於ける「世界経験」について	森 哲郎
ルターにおける「外」と「内」についての一考察	片柳 俊子

第三号 目次

キルケゴール研究の方法について	小川 圭治
エイレナイオスと聖書	菊地 栄三
ティリッヒの芸術神学について	田 辺 明子
絶対の相の下に	片 柳 栄一
ルターの律法理解	宮 庄 哲夫
聖書へブル語統辞論のテキスト言語学的考察	勝 村 弘也

第四号 目次

ルターの解釈学は「実存論的解釈」といえるか	今 井 晋
キプリアヌスの教会理解	佐藤 吉昭
ノビリの印度伝道	塩 谷 悟
テンプルックのヴェーバー解釈をめぐる論争	高野 晃兆
フィロンとキリスト教	平 石 善司
ルターの抵抗権思想における服従の問題	早乙女 禮子
創世記テキストにおける語りの技法	勝 村 弘也
シェリングに於ける神話と世界	森 哲 郎
ヘクサプラ断片の残存率について	伊 藤 利 行

第五号 目次

「解釈学的教義学の構成について」……………	森田雄三郎
内村鑑三と「身体の救い」……………	原島正
言語芸術作品としての旧約聖書物語テキスト エルンスト・トレルチにおける……………	勝村弘也
「歴史の神学」の構想……………	安酸敏真
教義学的思考における解釈学的循環の問題 掛川富康……………	掛川富康
第六号(武藤一雄名誉教授古稀記念特別号) 目次	
神学的宗教哲学について……………	武藤一雄
アレクサンドリアのフィロンにおける 能動と受動の問題……………	水垣涉
奇蹟物語へのマージナリア……………	大島征二
アルバート・シュヴァイツァーの聖餐論への 新約聖書学的批判……………	田辺明子

ヨセフスのモーセ物語について……………	秦剛平
エイレナイオスの人間理解……………	菊地栄三
キプリアヌスの「棄教者論」考察……………	佐藤吉昭
アウグスティヌスの時間論……………	片柳栄一
ルターにおける「アフェクトゥス」の問題……………	今井晋
ルターとアウグスティヌス……………	金子晴勇
神学的構造主義の問題……………	森田雄三郎
M・ヴェーバー「古代ユダヤ教」と パリアア民族の概念……………	高野晃兆
浄土系仏教とキリスト教の救済論の 一異に関する考察……………	原田博充
日本の伝統的宗教的心情とキリスト教との 関連について……………	名木田薫
ウィリアム・ケアリの伝道に対する貢献……………	塩谷悟
神概念の転換……………	小川圭治

第七号 目次

ルターと神学的決定論 金子 晴勇

Imago Deiとしての精神の自覚の三二的構造
..... 片 柳 栄一

脚下照顧 武 藤 一 雄

M・ヴェーバー「古代ユダヤ教」と
カスパリの批判（一九二二） 高 野 晃 兆

パウル・ティリッヒと象徴の問題 芦 名 定 道

第八号 目次

キリスト教概念の成立（その一） 水 垣 涉

アルベルト・シュヴァイツァーの「イエス神秘主義」
..... 笠 井 恵 二

シェリング『自由論』再考（一） 森 哲 郎

ルターにおける職業観の問題 早 乙 女 禮 子

第九号 目次

西田幾多郎とキリスト教	小川圭治
R・ブルトマンにとってのイエスの意義に関して	名木田 薫
旧約物語テキストにおけるヒンネー(見よ)の機能	勝村弘也
シェリング『自由論』再考(二)	森 哲郎
P・ティリッヒの時間論	芦名定道
キェルケゴールの「自己の定義」について	山本忠義

第十号 目次

ルターにおける「体験」の問題——一つの覚書——	今井 晋
シュタウピッツとルターの神秘思想	金子晴勇
ルターとカールシュタット(一)	宮庄哲夫
ルターにおける試練について	竹原創一
神学主義と宗教主義	武藤一雄
オリゲネス『原理論』に於ける悪の問題序論	久山道彦
キェルケゴール「死に至る病」の「キリスト教的理解」	信岡茂浩

第十一号 目次

創造と進化——創造における無—— …… 森田雄三郎
ルターとカールシュタット(一) …… 宮庄哲夫
神言表の可能性とその「言述的」→「合理化」の問題 …… 掛川富康
ヘブライズムとギリシア語聖書 …… 伊藤利行
エラスムスの「敬虔」概念の倫理的基礎 …… 畑宏枝

第十二号 目次

神探求の場の開示 …… 片柳栄一
二つの歴史的社会的イエス研究について …… 大島征二
「思い煩う」(ルカ二二・二二～三三)について …… 田辺明子
レッスングの神学思想——序説—— …… 安酸敏真
自由意志論争におけるエラスムスとルター …… 畑宏枝
アントニオスの修道 …… 竹田文彦

第十三号 目次

内村鑑三における「内と外」の論理	……	原島 正
キリスト教倫理の源泉	……	名木田 薫
七十人訳翻訳史序説(一)	……	秦 剛平
隠喩と神学的実在論	……	芦名 定道
ニュッサのグレゴリオスの		
「鏡における神認識」の存否	……	土井 健司
オリゲネスにおける神のエネルギー	……	松丸 太

執筆者

林 忠 良

関西学院大学教授

内 村 公 義

長崎大学医学部精神神経科学教室所属

笠 井 恵 二

京都産業大学教授

久 山 道 彦

明治学院大学助教授

土 井 健 司

京都大学文学部助手

武 藤 慎 一

京都大学大学院博士課程在学中

第十四号編集実務委員会

小池三郎
高野晃兆
林忠良
片柳栄一
宮庄哲夫
勝村弘也
芦名定道

一九九三年三月二十日印刷
一九九三年三月三十一日発行

定価 一〇〇〇円

発行者

京都大学基督教学会
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部基督教学教室内

発行人

小池三郎

発売元

㈱大阪キリスト教書店
大阪市北区曾根崎新地二丁目二五

印刷所

シャローム工房

~~~~~  
本誌の御註文は、最寄のキリスト教書店、  
もしくは、右記、京都大学基督教学会（振  
替京都三七二〇〇七）へ、送料とも二四〇  
円（定価一〇〇〇円、送料二四〇円）を添  
えてお申込み下さい。

# JOURNAL OF CHRISTIAN STUDIES

KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

---

---

Vol. 14

March, 1993

---

---

## Contents

*Die Bedeutung des Logischen im Denken S. Kierkegaards*  
..... Tadayoshi Hayashi

*The Awareness of Sin—Its Anthropological Structure*  
..... Kimiyoshi Uchimura

*Die Geschichtsauffassung bei J. Moltmann—Theologie  
der Hoffnung und die Probleme der heutigen Welt*  
..... Keiji Kasai

*The Searching Spirit—Origen's Early Hermeneutical Principle*  
..... Michihiko Kuyama

*On the Metaphor of a Mirror in Gregory of Nyssa* ..... Kenji Doi

*Chrysostom's Hermeneutics—Seen from the Incomprehensibility*  
..... Shinichi Muto

*A Eulogy on the late Mr. Kuniyuki Ito* ..... Teruyoshi Takano

**THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES  
KYOTO UNIVERSITY**

Kyoto Japan